



進路だより

福島県立たむら支援学校
進路指導部通信 第1号
令和3年7月20日発行

中学部「作業学習」について

製作や販売などの活動を通して、働くことの楽しさや喜びを味わい、将来の社会自立に必要な基礎的な力を身に付けるために、火曜日と木曜日に2時間ずつ「作業学習」の時間を設けています。今年度は、19名の生徒が、家庭班と農工芸班の2つの作業班に分かれて活動しています。家庭班は、ミシンや織り機を使い、ポーチやストラップなどの製作に取り組んでいます。農工芸班は、農作物を栽培したり、牛乳パックを再利用した製品作りに取り組んだりしています。身支度や手洗い、あいさつや返事など基本的な動作も少しずつ自分で行うことができるようになってきました。2・3年生は、これまでの経験から見通しをもって意欲的に活動に取り組むとともに、上級生として1年生に教えたり、皆をまとめたりする姿も見られます。



(農工芸班・紙グループ)



(農工芸班・畑グループ)



(家庭班)

高等部「前期産業現場等における実習」について

高等部では、6月14日(月)～6月25日(金)の10日間、「前期産業現場等における実習」を実施しました。企業や福祉サービス事業所等で仕事や生活することを体験し、自分の将来を考えることができるようにすることを目的とした校外実習と、学校内にて一定期間継続して作業を行うことで、働くことが中心の生活を体験し、働くための基礎的な力や、働くことへの意欲や態度を育てる校内実習を行いました。

校外実習では実際の職場や事業所での作業を経験させていただき、生徒一人一人が充実した時間を過ごすことができました。校内実習では所属している作業班の活動で実習を行い、あいさつや時間を意識した行動などの大切さを学ぶことができました。

生徒の実習受入れをいただきました企業や事業所等の皆様方へ心より感謝申し上げます。



校内実習 (農作業の様子)



(清掃業務の様子)



(刺繍作業の様子)



(喫茶、接客活動の様子)